

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2016-189055(P2016-189055A)

【公開日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2015-67983(P2015-67983)

【国際特許分類】

G 0 6 K 7/08 (2006.01)

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 7/08 0 4 0

G 0 7 D 9/00 4 6 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月26日(2018.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

磁気ストライプを有するカードが挿入されるカード挿入口と、前記磁気ストライプに磁気データが記録されているのか否かを検知するための M R センサと、前記磁気ストライプに記録された磁気データの不正な読取りを妨害するための妨害磁界を発生させる妨害磁界発生手段とを備え、

前記磁気ストライプには、前記カード挿入口から挿入される前記カードの移動方向に配列される磁気データが記録され、

前記 M R センサは、前記カードの移動方向において、前記磁気ストライプに 0 データが記録されたときの磁気データのビット間隔未満の距離、離れた状態で配置される第 1 の抵抗体および第 2 の抵抗体を備えることを特徴とするカードリーダー。

【請求項 2】

前記第 1 の抵抗体と前記第 2 の抵抗体とは、前記カードの移動方向において、前記磁気ストライプに 0 データが記録されたときの磁気データのビット間隔の半分の距離、離れた状態で配置されていることを特徴とする請求項 1 記載のカードリーダー。

【請求項 3】

前記第 1 の抵抗体と前記第 2 の抵抗体とは直列に接続され、

前記第 1 の抵抗体および前記第 2 の抵抗体のいずれか一方が電源に接続され、

前記第 1 の抵抗体および前記第 2 の抵抗体のいずれか他方が接地され、

前記第 1 の抵抗体と前記第 2 の抵抗体との中点の電位が前記 M R センサの出力となっていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のカードリーダー。

【請求項 4】

前記磁気ストライプには、複数のトラックの磁気データが記録され、

前記 M R センサは、それぞれの前記トラックごとに磁気データが記録されているのか否かを検知するための複数組の前記第 1 の抵抗体および前記第 2 の抵抗体を備えることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載のカードリーダー。

【請求項 5】

対をなす前記第 1 の抵抗体および前記第 2 の抵抗体は、前記カードの移動方向において

、磁気データが記録されているのか否かを検知する前記トラックに 0 データが記録された
ときの磁気データのビット間隔の半分の距離、離れた状態で配置されていることを特徴と
する請求項 4 記載のカードリーダー。